

平成27年度指定管理業務 評価票

1 基本事項

公の施設の名称	糸魚川市健康づくりセンター（はびねす）
施設の設置目的	市民の健康づくりの推進を図るとともに、市民に憩いとふれあいの場を提供するため
所管部署	健康増進課
指定管理者	コナミスポーツクラブ・糸魚川二幸グループ
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日までの5年間
主な事業	施設の管理運営に関する業務 利用申込の受付、利用料金の徴収、スタジオ・フィットネスルーム・入浴施設の管理運営業務、施設・設備及び備品の維持管理 健康づくりの推進及び各種教室運営に関すること 運動教室の企画及び実施、フィットネスルームにおける個別指導及びトレーニング機器等の説明、市の健康づくり推進事業との連携、施設外での出張指導 その他の業務 職員の雇用・配置及び研修、施設内の目的に適したスペースの利用等

2 管理運営状況

平成27年度管理運営状況(主要な取り組み・成果、地域貢献等の実績)
・新規プログラムの導入、また、子供向け教室として縄跳び教室を実施するなど利用促進策を講じた。 ・地元採用のスタッフ2名を新たにインストラクターとして養成し、新規プログラムの展開を図った。 ・はびねすで行っている運動内容等を市内各地区で展開することを目的とし、市が実施する地区運動教室の地区運動推進員16名を対象に指導者研修会を3月に実施。また、出張指導として市内計18会場に出向き運動指導を実施した（参加者計482名）。 施設利用者数については、前年よりも1,224人の増となり、目標数・前年比ともに上回り（達成率100.8%・前年比101.5%）、オープン以来過去最高の年間利用者数となった。また、運動フロアの利用者数も年々増えており、運動実践者は着実に増えてきている。

利用状況

(単位:人)			
	H25年度	H26年度	H27年度
指定管理者名	コナミスポーツ&ライフ・糸魚川二幸グループ	コナミスポーツ&ライフ・糸魚川二幸グループ	コナミスポーツクラブ・糸魚川二幸グループ
総利用者数	83,053	82,951	84,175
(スタジオ利用者数)	24,128	24,259	24,357
(フィットネス利用者数)	28,125	30,441	30,781
「利用者サービス」における市の状況分析	利用者アンケートを実施し、利用者のニーズに応じた運動プログラムの展開、また、運営に関する要望に対応するなど、利用者サービスの向上に努めている。新規プログラムの導入やスタンブラリー、体力測定会など幅広い年齢層を対象とした各種イベントを実施しており利用者から好評を得ている。		

収支状況

(単位:千円)							
		H25年度		H26年度		H27年度	
		計画	実績	計画	実績	計画	H28年度(予算)
収入	指定管理料	44,000	44,776	43,303	43,303	43,303	43,303
	利用料金	26,818	26,283	28,161	24,445	25,761	24,188
	その他営業収入等	6,693	9,153	6,544	9,766	8,437	7,174
	計	77,511	80,212	78,008	77,514	77,501	74,665
支出	人件費	30,000	29,426	32,828	28,811	28,500	28,200
	光熱水費	22,000	22,012	23,737	23,709	23,568	22,553
	維持管理業務費	6,212	6,212	7,921	8,371	8,369	8,369
	その他管理経費	17,500	15,653	11,800	16,022	15,968	13,911
	還元金	0	108	0	0	0	0
	計	75,712	73,411	76,286	76,913	76,405	73,033
収支差額		1,799	6,801	1,722	601	1,096	1,632
「収支状況」における市の状況分析		利用料金収入は前年度よりも増えたものの、その他営業収入が減ったことにより、収入合計額は前年度よりも減収となった。しかし、より細やかな経費削減に努めたことにより、光熱水費など管理経費を抑えることができたことから、黒字幅が前年度よりも大きくなっている。					

3 適正な管理運営の確保

目標管理	評価指標	利用者の安全確保、適正な施設管理
	目 標	適正な施設の運営・維持管理を行うこと。また苦情や緊急時などに迅速かつ適切に対応すること。
	実 績	事業計画書に基づき適正な管理運営を行い、苦情や緊急時についても迅速に対応した。

実施状況	点検項目	【実施状況】
	・誰もが利用できる仕組みを構築し運営しているか。	誰もがよりわかりやすく、読みやすい掲示物になるよう見直しを行った。また、障がい者・高齢者の方へのスムーズな利用を支援するためのスタッフ研修を引続き実施した。
	・協定書及び仕様書等に基づいて設備の保守点検や備品の点検を適正に実施しているか。	各種点検については、適正に実施しており、点検結果を毎月提出するとともに、定例会にて報告・協議を行っている。
	・協定書、事業計画書等で定めた職員体制がとられているか。	事業計画書等で定めた適切な人員配置を行っており、トレーニング指導ライセンスの取得や接客接客研修などの各種研修を通じ職員の資質向上を図っている。
	・利用者が安全、安心に利用できるような緊急・救急体制を有しているか。	緊急事態発生時の対応フローを備えており、また館内には姫川洪水ハザードマップも掲示するなどし、市民の防災意識の高揚を図っている。
	・事故防止や事故発生時の対応について研修等を実施しているか。	心肺蘇生法・AED研修を全スタッフが受講し、消防本部と連携しての防災訓練も実施した。また、毎月17日を安全の日とし、月1回安全に関する研修・点検を実施している。
	利用者等からの意見・要望・苦情等とその対応	安全対策等についての苦情はない。

評価等		指定管理者の自己評価	市の評価
	評 価	A A	A A
	評価理由	月1回の定例全体ミーティングを行い、安全研修や、お客様情報の確認、施設内の不具合確認を実施するなど、ご利用される方がより快適に施設を利用いただけるよう努めた。 設備管理については前年同様定期的な点検を行い、機能・性能の劣化兆候を事前に把握し、予防保全業務を行った。	各種保守点検や水質検査等も適正に実施されており、点検状況や点検結果、対応内容についても毎月報告がなされるとともに館内にも掲示を行っている。 また、利用者が安全快適に利用できるように、スタッフに対しての毎月の安全研修や接客研修、インストラクター研修などを定期的に実施するなど、人材育成も積極的になされている点はとくに評価できる。
	改善事項	利用者が安全快適に利用いただけるようにサービスの向上、また施設の資産価値の維持・向上の観点を持ち維持管理に努めていく。	引き続き効率的な施設管理に努め、経費節減を図ること。

【評価基準】

ランク	目標達成率(%)	判断基準
A A A	115%以上	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に上回る成果があり、特に優れているもの。
A A	105%以上 115%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を上回る成果があり優れているもの。
A	A + 100%以上 105%未満	事業計画の目標や仕様書の内容に概ね沿っているもの。
	A - 95%以上 100%未満	
B	80%以上 95%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を下回り、改善努力が必要なもの。
C	80%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に下回り、早急に改善対策を要するもの。

4 利用者サービスの向上や利用者数増の取り組み

目標管理	評価指標	利用者人数の増加				
	目 標	総利用者:83,500人、スタジオ:23,000人、フィットネス:30,600人				
	実 績	総利用者:84,175人、スタジオ:24,357人、フィットネス:30,781人				
資料	(単位:人)					
	項目	H27 目標数	H26 利用者数	H27 利用者数	達成率 /	対前年比 /
	総利用者数	83,500	82,951	84,175	100.8%	101.5%
	(スタジオ利用者数)	23,000	24,259	24,357	105.9%	100.4%
	(フィットネスルーム利用者数)	30,600	30,441	30,781	100.6%	101.1%

実施状況	点検項目	【実施状況】
	・利用促進に向けた取組みに努めているか。実現可能な利用促進策を実施しているか。	子どもや親子を対象とした企画をイベントの中で開催するなど、新たな利用促進策を講じた。
	・教室、イベント、自主事業などの取組み状況	インストラクターの研修を継続して実施し、多様なプログラムの展開を図った。
	・利用者数増加のためのPR活動は実施しているか。	ホームページや新聞掲載、また、各種イベントにてハンドビラなどのPR活動を実施した。
	・利用者アンケート等を活用し利用者の要望や意見を把握しているか。また対応策を講じているか。	利用者アンケートを実施し、要望や意見を取り入れた運営を行った。
	利用者等からの意見・要望・苦情等とその対応	とくに大きな苦情はなかったが、スタジオプログラムの時間帯やメニューに関するご意見を参考とするとともに、利用状況や利用者の反応等をみながら1か月ごとにプログラムの時間帯や内容の編成を行っている。

評価等		指定管理者の自己評価	市の評価
	評 価	A A	A (A +)
	評価理由	各種イベントや多様な教室を行ったことで、運動効果を広める役割を大きく果たし、フィットネスゾーン利用者を拡大することができ、結果として施設全体の利用者増にもつなげることができた。	多様な教室、イベントの開催や運動効果を周知する広報活動などにより、総利用者数は前年比1,244名の増となり過去最高の利用者数となったこと、また、運動実践者も着実に増やしている点は評価できる。
	改善事項	上半期の利用人数の低迷をなんとか下半期で回復させ全体の利用人数を増やすことは出来たが、足元地域からの利用者減が見て取れる為、足元参加率を向上させることが今後の課題となる。	近隣地域の利用人数を増やす対策とあわせて、遠隔地や企業等への積極的な誘客を実施するなどし、新規利用者確保に努めるとともに、引き続き利用促進を図ること。

〔評価基準〕

ランク	目標達成率(%)	判断基準
AAA	115%以上	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に上回る成果があり、特に優れているもの。
AA	105%以上 115%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を上回る成果があり優れているもの。
A	A + 100%以上 105%未満	事業計画の目標や仕様書の内容に概ね沿っているもの。
	A - 95%以上 100%未満	
B	80%以上 95%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を下回り、改善努力が必要なもの。
C	80%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に下回り、早急に改善対策を要するもの。

5 収支や収益の向上に関する取り組み

目標管理

評価指標

収入及び収支の達成状況

目 標

事業計画での目標値を達成すること。

実 績

収入目標は達成できなかったが、収支については目標額・前年比ともに上回った。

資料

■ 収入（ 指定管理料を除く）

(単位:円)

項目	H27収入 計画額	H26 実績額	H27 実績額	達成率 /	対前年比 /	前年比差額 -
利用料収入	25,761,000	24,233,020	25,216,370	97.9%	104.1%	983,350
教室受講料収入	4,903,000	5,459,400	5,349,320	109.1%	98.0%	▲ 110,080
自動販売機収入	784,000	540,226	504,011	64.3%	93.3%	▲ 36,215
商品販売収入	2,265,000	3,394,363	2,250,428	99.4%	66.3%	▲ 1,143,935
その他(外部指導料等)	486,000	584,824	288,800	59.4%	49.4%	▲ 296,024
合計	34,199,000	34,211,833	33,608,929	98.3%	98.2%	▲ 602,904

■ 収支

(単位:円)

項目	H27 計画額	H26 実績額	H27 実績額	達成率 /	対前年比 /	前年比差額 -
収入(指定管理料含む)	77,501,857	77,514,690	76,911,786	99.2%	99.2%	▲ 602,904
支出	76,405,867	76,913,211	70,674,541	92.5%	91.9%	▲ 6,238,670
差引	1,095,990	601,479	6,237,245	569.1%	1037.0%	5,635,766

実施状況	点検項目	【実施状況】
	・ 利用料収入の目標達成度	利用料収入については、計画額に達しなかったが、利用者数の増に伴い前年度よりも増収となった。
	・ 収入増加のための取り組みを実施しているか。	スタジオプログラムの充実や各種イベントの開催などにより、利用者及び収入増加を図るための取り組みを実施している。
	・ 収支決算書は適正に作成されているか。	収支決算書及び事業報告書を適正に作成・報告し確認を受けている。
	・ 経費削減や業務の効率化に取り組んでいるか。	気候にあわせて設備の自動運転を手動に切り替えるなど、より細やかな経費節減策を行ったことにより、光熱水費については大きく削減できた。
	利用者等からの意見・要望・苦情等とその対応	特になし。

評価等		指定管理者の自己評価	市の評価
	評 価	A A	A A
	評価理由	イベントや各種教室を開催したことで教室受講収入は目標を大きく上回ったものの、既存利用者の利用頻度が増加し、定期券等への移行に伴う利用料収入の落ち込みと、物販商品調達が全社的に難しい状況の為、新規販売商品の入手が出来ず、物販収入が明らかに落ち込みを見せた。	利用料収入については、目標額には達しなかったが、前年度よりも増益となったこと、また積極的に経費削減に努めるなどし管理経費を抑え、収支については目標額・前年比ともに大きく上回った点は評価できる。
	改善事項	スタジオ及びフィットネス利用者数のさらなる拡大と、温浴利用者の利用促進による施設利用人数の向上。	物販等の収入に代わる自主事業の展開や新規利用者確保等による収入増加に努め、収入・収支目標の達成に努めること。

【評価基準】

ランク	目標達成率（％）	判断基準
AAA	115%以上	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に上回る成果があり、特に優れているもの。
AA	105%以上 115%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を上回る成果があり優れているもの。
A	A + 100%以上 105%未満	事業計画の目標や仕様書の内容に概ね沿っているもの。
	A - 95%以上 100%未満	
B	80%以上 95%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を下回り、改善努力が必要なもの。
C	80%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に下回り、早急に改善対策を要するもの。

6 公の施設の設置目的と全体評価

検 証 等		市の評価		
		設置目的	目標管理（評価指標）の再掲	指標別評価
	評 価	市民の健康づくりの推進を図るとともに、市民に憩いとふれあいの場を提供するため。	適正な管理運営の確保	A A
			利用者サービスの向上	A (A +)
			収支の実績	A A
		評価内容		総合評価
		・個々の体力等に応じた運動指導を実施するなどし、市民の健康づくりの推進が図られていることから、施設の設置目的に合致している。 ・総利用者数、運動フロア利用者数ともにオープン以来過去最高の利用者数となり、運動実践者を大きく増やしている点はとくに評価できる。 ・上記の内容に指標別の評価を含め、全体的に判断し、総合評価を「A A」とした。		A A
	課題検証	・施設内に限らず、出張指導等による施設外における事業展開の推進は、施設PR・新規利用者の確保につながると考えることから、より積極的な事業展開が必要である。 ・地区運動推進員への研修を通じて、指定管理者の持つ知識やノウハウ等を伝え育成し、各地区の教室で展開することは、より多くの市民への健康づくりに活用できることから有効であるとする。今後もさらに連携を図り、施設外の市内指導者養成の推進に努める必要もある。		
	改善事項	・黒字が出た場合の還元事業の展開。 ・高齢者、遠隔地、企業などへの積極的な誘客の実施。 ・特定保健指導、介護予防事業等とさらなる連携を図り、幅広い年齢層を対象とした健康づくりの推進を図ること。		

【総合評価】

評価区分	判断基準
A A A	優良である
A A	良好である
A	適正である
B	課題がある
C	改善を要する

○ 評価委員会の意見

項目	意 見
適正な管理運営の確保	・ 適正である。
利用者サービスの向上	・ 良好である。 ・ 施設の利用によって利用者の健康数値がどう変わったか、データを集め、分析してほしい。
収支の実績	・ 良好である。 ・ 光熱水費については、電気料の減額もあるが全体的な工夫により支出を抑えた取り組みの成果であり、評価する。
公の施設の設置目的と全体評価	・ 施設の設置目的は、市民の健康づくりの推進を図ること、市民に憩いとふれあいの場を提供することである。施設オープン以来、利用したことがない市民を含め、さらに多くの市民から利用していただけるような普及活動を望む。 ・ 施設が市民の健康増進に寄与しているかどうか、客観的に判断できるようなデータの収集と分析を行ってほしい。 ・ 高齢化が進む中、市は医療費を抑える対策が必要である。特定保健指導、介護予防事業等を展開し、市と指定管理者はさらなる連携を図り、幅広い年齢層を対象とした健康づくりの推進を図ってほしい。